

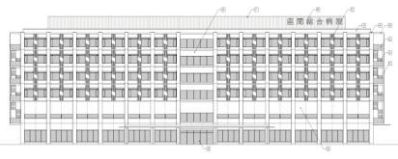
この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

CASBEE 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年通補版Ver.2 (BPV/BEI対応) | 使用評価ソフト: CASBEE-NCB_2010bpi&bei(v.2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	座間総合病院 新築工事 病院棟	階数	地上6F
建設地	神奈川県座間市キャンパス座間一部返還跡地	構造	RC造
用途地域	都市計画区域内、指定なし	平均居住人員	1,153 人
気候区分		年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年2月 予定	評価の実施日	2016年2月1日
敷地面積	10,459 m ²	作成者	鹿島建設株式会社一級建築士事務所
建築面積	4,095 m ²	確認日	2016年2月1日
延床面積	16,647 m ²	確認者	株式会社入江三宅設計事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 92%

③上記+②以外の 92%

④上記+ 92%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.1

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合 本物件はキャンパス座間の返還跡地の一部に立地する病院である。敷地内に豊富な緑地による景観上の配慮や温熱環境の負荷低減に貢献している。また高効率な設備機器を採用し、運用上の効率的なエネルギー利用に配慮している。		その他 0
Q1 室内環境 ・建材は全面的にF☆☆☆☆を採用し、室内の空気質環境に配慮している。 ・全館禁煙としている。	Q2 サービス性能 ・耐用年数の長い内外装仕上材、配管材料を採用している。 ・階高を高くとり、更新の際の自由度に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) ・出入口に大きな庇を設けて雨宿りや待ち合わせの場を提供したり、防犯性に配慮し、地域のアメニティの向上に配慮している。
LR1 エネルギー ・高断熱な外皮計画とし、室内の熱負荷抑制に配慮している。 ・高効率な設備機器を採用し、省エネルギーに配慮している。	LR2 資源・マテリアル ・節水器具を採用し、水資源の確保に配慮している。 ・乾式工法となっており仕上材と躯体の分別を容易にして、資源の再利用性に配慮している。	LR3 敷地外環境 ・駐車スペースの確保や渋滞緩和の対策など交通負荷抑制に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される